



自由民主

CROSSTALK

いばらき

茨木市議会議員

西野たかはる

Takaharu Nishino

大阪府議会議員

うらべ走馬

Soma Urabe

選ばれるまち“茨木”へ

CROSSTALK

うらべ

Q1

2024年4月に行われた茨木市議会議員補欠選挙で当選して、現在、茨木市議会議員として活動をしている中で、どのような茨木市を目指していくべきであると考えていますか。

西野

A1

人口減少社会が、避けられないこれからの日本にとって、選ばれる自治体であり続けなければ、今の茨木市民の約29万人を支える社会サービスを維持していくことが難しくなることが考えられます。茨木市は、子育て世代から人気の北摂エリアであるという地の利も生かしながら、住環境や子育て支援、教育環境の充実、交通の利便性を重視しながら、地域の活性化や高齢化社会への対応にも力を入れることで、選ばれるまち“茨木”を実現することが重要であると考えます。

スポーツ教育を通じて

心も、体も、豊かに育てる

うらべ

Q2

元々、ガンバ大阪でプロサッカー選手として活動してきたという経験からも、スポーツ分野について、力を入れていると思うが、スポーツ政策には、こういった可能性があると考えていますか。

西野

A2

スポーツ政策は、教育、健康増進、地域活性化に繋がると考えています。

教育においては、スポーツ教育を通じて、心も、体も、豊かに育てることが出来る特色のある教育を実現できます。生涯スポーツを通しては、高齢化社会の中で、多くの人が運動を行える環境や機会を作ること、健康で元気に過ごせる健康寿命の延伸に繋がります。また、プロスポーツチームの試合などを通じての地域活性化や、スポーツイベントの開催によって、多世代の交流を図ることで、地域コミュニティの活性化にも寄与します。

生まれたまち、育ったまち、茨木への愛

うらべ
Q3

茨木市が生まれ育った地元という事で、愛着や想いを持っていると
思います。最後に、そのあたりの茨木市への想いについて聞かせてください。

西野
A3

この茨木で生まれ、育てていただきました。そして現在は、二児の父となり、これからもこの街に住み
続け、子どもたちを育てていきます。祖父母も、両親も、子どもたちも、家族が住み続けている、この茨木市の10年
後、20年後、そして30年後の茨木の未来は、他人事ではなく自分事です。自分の子どもたちが悲しむというこ
とは、茨木の子どもが悲しむということでもあり、次世代に対しての責任感を持ち、茨木市の未来のために全力で努
めていきます。

*Sport education
and
lifelong sport
for a prosperous society*



選ばれるまち“茨木”へ

- ・スポーツ教育
- ・生涯スポーツ
- ・教育環境の充実
- ・健康寿命延伸
- ・健康増進
- ・地域活性化
- ・子育て支援

Profile



西野たかはる

茨木市出身 31歳 2児の父
春日丘小学校・茨木市立西陵中学校
大阪府立吹田東高等学校・
早稲田大学 人間科学部 健康福祉科学科 卒業
H24年 ガンバ大阪入団
(H29.2-6月にジェフユナイテッド千葉 期限付き移籍)
H31年 カマタマーレ讃岐入団
R 5年 株式会社リクルート入社
R 6年 茨木市議会議員 補欠選挙当選



うらべ走馬

平成27年・31年・令和5年 大阪府議会議員当選
沢池小学校・西陵中学校
太成高校・日本大学法学部政治経済学科 卒業
【所属】自由民主党茨木市支部
(一社)茨木青年会議所
茨木商工会議所青年部
オークライオンズクラブ

プ
ロ
フ
イ
ー
ル